

2021.04.20

【会場】

九州大学病院 (日本),  
チュラロンコン大学 (タイ),  
マラヤ大学 (マレーシア),  
インドネシア大学 (インドネシア),  
チョーライ病院 (ベトナム),  
復旦大学中山病院 (中国),  
ティンガンジュン サン・ピュア総合病院 (ミャンマー)

【概要】

第8回のアジア超音波内視鏡テレカンファレンスが開催された。本カンファレンスの目的は超音波内視鏡(EUS)関連手技の教育やその有用性を共有することである。COVID-19パンデミックという制限がありながら、アジア各国の複数の施設と接続し、情報交換を行うことができた。インドネシア大学とマレーシア大学から interventional EUSの現状と有用性について発表があり、特にEUSガイド下RFA治療の実際や今後の展望について、活発な議論が交わされた。



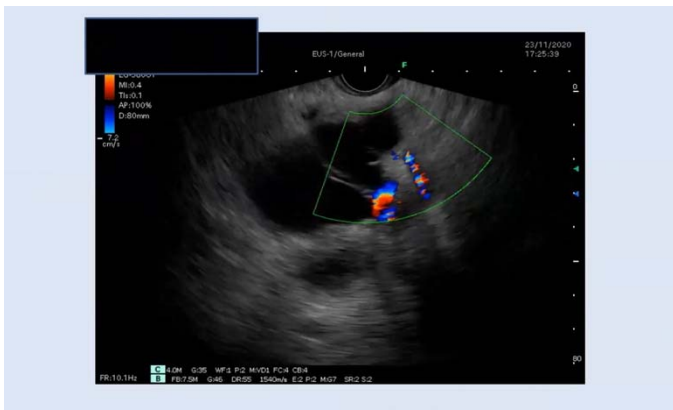
九州大学病院の様子。

撮影場所：九州大学病院



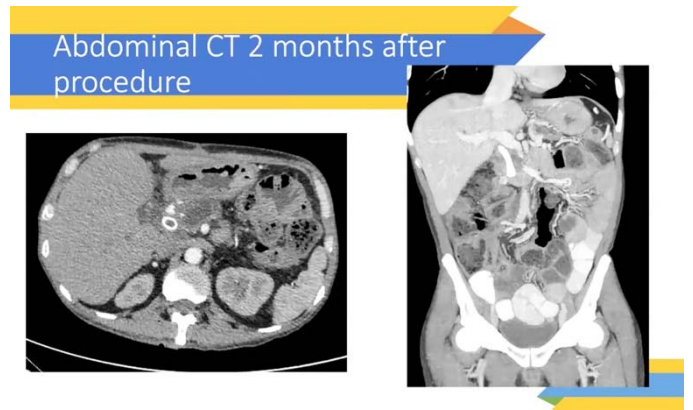
チョーライ病院の様子。

撮影場所：九州大学病院



提示された超音波内視鏡画像。

撮影場所：九州大学病院



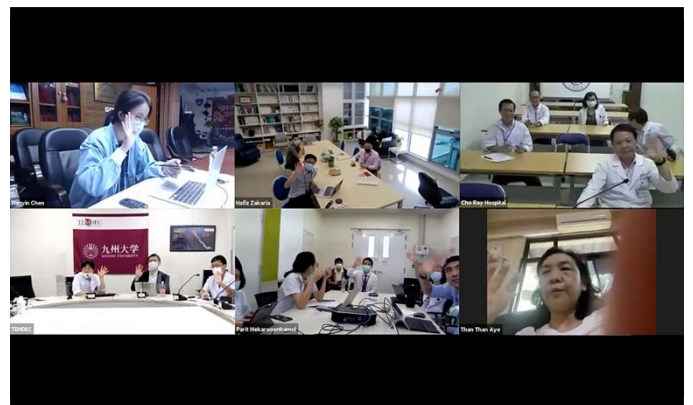
提示されたCT画像。

撮影場所：九州大学病院



インドネシアから参加する医師。

撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される接続施設。

撮影場所：九州大学病院